

2019年度 第2四半期
(2020年3月期 第2四半期)

IR説明資料

2019年11月5日

不二製油グループ本社株式会社

目次

1	連結 損益概要(2Q : 3ヶ月実績)	…	3 ページ
2	連結 損益概要(2Q累計)	…	4
3	連結 貸借対照表	…	5
4	連結 キャッシュ・フロー	…	5
5	連結 指標	…	6
6	2019年度通期業績予想	…	7
7	設備投資額・減価償却費の推移	…	8
8	配当の推移	…	8
9	売上高・営業利益（所在地別・事業別）2Q累計	…	9
10	売上高・営業利益（所在地別・事業別）通期	…	10
11	中期戦略製品群別 販売数量推移(対前年同期比)	…	11
12	主要関連相場	…	12
13	中期経営計画	…	13
14	トピックス	…	13

※「IR説明資料について」

当資料は、短信補足資料（1～8）に、所在地別実績等の詳細データ（9～14）を追加し統合した資料です

◆ 1. 連結損益概要(2Q : 3ヶ月実績)

第2四半期 (3ヶ月実績)

(単位: 億円)

		18年度 2Q	19年度 2Q	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	植物性油脂	258	240	▲18	▲7.0%
	業務用チョコレート	147	436	+289	+196.4%
	乳化・発酵素材	210	201	▲9	▲4.5%
	大豆加工素材	92	90	▲2	▲2.2%
	合計	707	967	+259	+36.7%
営業利益	植物性油脂	19	25	+6	+33.2%
	業務用チョコレート	12	14	+2	+17.8%
	乳化・発酵素材	5	11	+6	+121.4%
	大豆加工素材	8	11	+2	+27.2%
	連結調整・ グループ管理費用	▲7	▲10	▲2	-
合計	37	51	+14	+38.7%	
営業利益率		5.2%	5.2%	+0.1pt	-
経常利益		38	48	+10	+25.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益		9	28	+19	+207.0%

※欧州は、植物性油脂事業と業務用チョコレート事業に分割。18年度は遡及修正済み。

■ 営業利益

<ポイント>

植物性油脂事業での収益性向上に加え、業務用チョコレート事業での日本の伸長、乳化・発酵素材事業での日本のクリーム等の販売数量増などにより、大幅な増益となった。

<セグメント別>

植物性油脂

チョコレート用油脂の日本、米州での販売伸長に加え、採算性を重視した販売の継続により増益。

業務用チョコレート

Blommerの先物評価損益の計上はあったものの、日本での菓子向けの販売伸長に加え、欧州などでの伸長により増益。

乳化・発酵素材

日本でのクリームやドリンク向けの販売増、中国でのファイリングの伸長などにより増益。

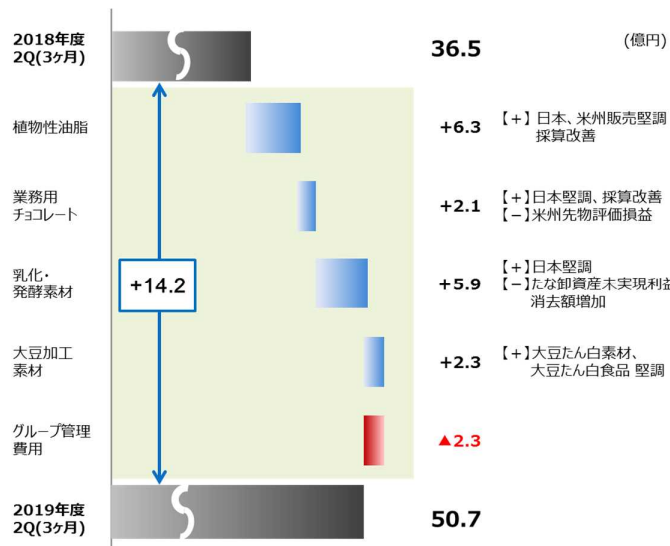
大豆加工素材

大豆たん白素材、大豆たん白食品の販売堅調により増益。

■ 四半期純利益

前期の減損損失の剥落により大幅増。

2019年度第2四半期 (3ヶ月) 営業利益増減分析



要因	FY18 Q2	FY19 Q2	増減額	要因分析
業務用チョコレート	11.7	13.8	2.1	
日本	13.4	15.7	2.3	菓子向け堅調
米州	▲4.1	▲5.9	▲1.9	
-Blommer、ハラルド			4.8	Blommerは、高付加価値品が伸長。 ハラルドは、レアル安などによる採算性悪化 があったものの、販売数量の増加により前年 比で赤字幅改善。
-Blommer先物評価損益影響額			▲6.7	
東南アジア	1.8	2.6	0.8	
中国	0.3	0.4	0.1	
欧州	0.8	0.9	0.2	
連結調整	▲0.6	0.0	0.6	

◆2. 連結損益概要(2Q累計)

第2四半期累計(上期)

(単位: 億円)

	18年度 2Q累計	19年度 2Q累計	前年同期比		
			増減額	増減率	
売上高	植物性油脂	529	486	▲43	▲8.1%
	業務用チョコレート	342	844	+502	+146.9%
	乳化・発酵素材	420	407	▲13	▲3.0%
	大豆加工素材	181	179	▲2	▲1.3%
	合計	1,471	1,916	+444	+30.2%
営業利益	植物性油脂	35	44	+10	+27.6%
	業務用チョコレート	44	24	▲20	▲45.7%
	乳化・発酵素材	15	19	+5	+33.5%
	大豆加工素材	17	21	+4	+21.8%
	連結調整・ グループ管理費用	▲16	▲18	▲2	-
合計	95	91	▲4	▲4.5%	
営業利益率	6.4%	4.7%	▲1.7pt	-	
経常利益	95	83	▲13	▲13.5%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	44	60	+16	+36.3%	
EBITDA	147	171	+24	+16.0%	
ROE	5.6%	7.6%	+2.1pt	-	
営業キャッシュフロー	120	142	+22	+18.3%	
投資キャッシュフロー	▲115	▲100	+15	▲13.2%	
フリーキャッシュフロー	5	42	+37	+783.4%	
NET有利子負債	509	1,380	+871	+171.1%	
NET運転資本	567	730	+163	+28.7%	
NET有利子負債/EBITDA	1.7倍	4.0倍	+2.3倍	-	
CCC(キャッシュコンバージョンサイクル)	104日	116日	+12日	-	

※欧州は、植物性油脂事業と業務用チョコレート事業に分割。18年度は遡及修正済み。

■ 営業利益

<ポイント>

植物性油脂事業、乳化・発酵素材事業、大豆加工素材事業で増益となったが、業務用チョコレート事業での米州の減益により、連結営業利益は前年同期比4.5%の減益となった。

<セグメント別>

植物性油脂

日本、欧州での採算性を重視した販売に加え、米州での昨年の寒波の影響からの反動により増益。

業務用チョコレート

Blommerの先物評価損益(▲16億)、またブラジルでの需要期の販売減、レアル安による原料コスト増により減益。

乳化・発酵素材

日本でのクリーム等の販売が堅調に推移したことに加え、東南アジアの調製品事業の業績改善により増益。

大豆加工素材

大豆たん白素材、大豆たん白食品の販売が堅調に推移し増益。

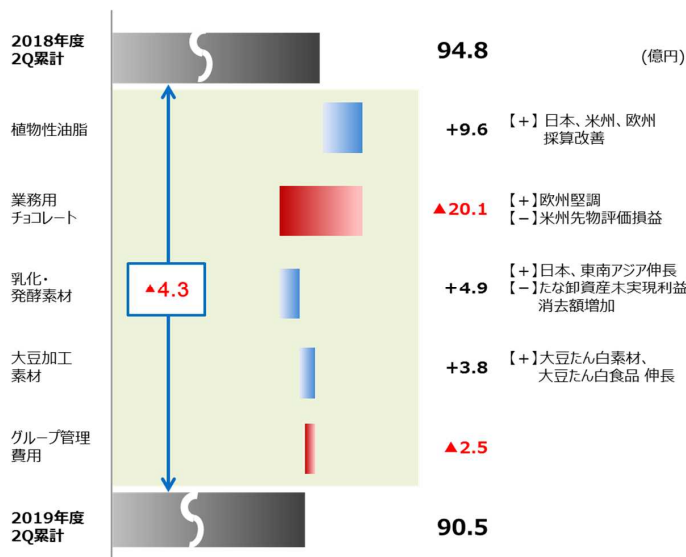
■ 四半期純利益

旧堺工場の売却益の計上などに加え、前期の減損損失、災害による損失の剥落により大幅増。

■ CCC

前年同期比では+12日だが、Blommerの影響除けば105日

2019年度第2四半期累計(上期) 営業利益増減分析



要因	FY18 上期	FY19 上期	増減額	要因分析
業務用チョコレート	43.9	23.8	▲20.1	
日本	28.5	29.3	0.8	菓子向けが堅調に推移
米州	10.4	▲13.0	▲23.4	
・ハラルド、Blommer			▲7.2	Blommerは、高付加価値品が伸長。 ハラルドは、2Qの販売数量は回復したものの、繁忙期であるイースター商戦の販売減少、レアル安などによる採算性低下により減益。
・Blommer先物評価損益影響額			▲16.2	
東南アジア	4.0	4.6	0.6	
中国	0.5	0.8	0.3	
欧州	0.9	2.0	1.1	販売堅調
連結調整	▲0.5	0.1	0.5	

◆3. 連結 貸借対照表

(単位：億円)

	18年度 期末	19年度 2Q末	前期末比	主な増減要因
流動資産	1,854	1,698	▲156	現預金の減少、売上債権の減少
固定資産	1,980	1,966	▲14	のれんの減少
繰延資産	-	3	+3	社債発行費用の計上
資産合計	3,834	3,667	▲167	
有利子負債	1,605	1,555	▲50	短期借入金の減少
その他負債	637	518	▲119	買掛金の減少
負債合計	2,242	2,073	▲168	
純資産合計	1,592	1,593	+1	

◆4. 連結 キャッシュ・フロー

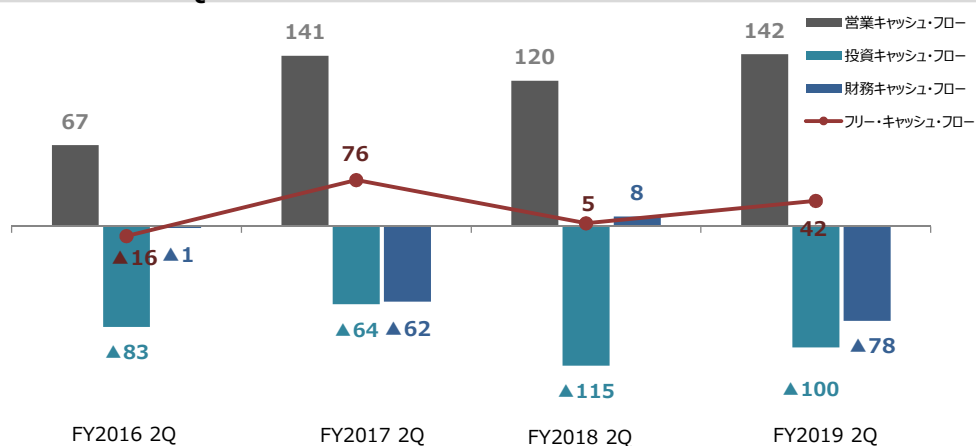
(単位：億円)

	18年度 2Q累計	19年度 2Q累計	前年同期比	主な増減要因
税金等調整前四半期純利益	70	83	+13	
減価償却費	55	66	+11	
のれん償却費	3	18	+15	
他増減	▲8	▲26	▲17	
営業キャッシュ・フロー	120	142	+22	
投資キャッシュ・フロー	▲115	▲100	+15	
フリー・キャッシュ・フロー	5	42	+37	
借入金等による調達・返済	85	▲52	▲137	短期借入金の返済
配当金支払等その他	▲21	▲21	+0	
財務キャッシュ・フロー	8	▲78	▲86	
現金及び現金同等物増減額	6	▲38	▲44	
現金及び現金同等物残高	136	175	+40	

(注) 減価償却費には、有形固定資産及び無形固定資産等の償却費を含めています。

キャッシュ・フロー (2Q累計)

(単位：億円)



◆5. 連結 指標

(単位：億円)

	18年度 2Q実績	18年度 実績	19年度 2Q実績	19年度 期初予想	19年度修正 予想(注2)
EBITDA	147	300	171	392	-
設備投資額	81	159	63	220	-
減価償却費	50	110	60	107	-
有利子負債	645	1,605	1,555	1,535	1,555
NET有利子負債	509	1,392	1,380	1,366	1,355
NET運転資本	567	171	730	745	-
NET有利子負債/EBITDA	1.7	4.6	4.0	3.5	-
1株当たり純資産	1,798円	1,820円	1,819円	1,954円	-
自己資本比率	58.1%	40.8%	42.6%	42.7%	-
D/レシオ	0.42	1.03	0.99	0.91	0.97
Net D/レシオ	0.33	0.87	0.84	0.80	0.79
営業キャッシュフロー	120	226	142	320	-
フリーキャッシュフロー	5	▲565	42	101	-
ROE	5.6%	7.3%	7.6%	9.4%	10.7%
ROA	7.1%	5.5%	4.4%	5.7%	6.2%
売上高営業利益率	6.4%	6.2%	4.7%	5.6%	5.9%
CCC	104日	105日(注1)	116日	105日	106日

(注)・減価償却費は有形固定資産の減価償却費を、純資産は非支配株主持分を除いた普通株式に係る純資産額を表示しています。

・D/レシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本 ・Net D/レシオ = Net有利子負債 (有利子負債 - 現預金) ÷ 株主資本

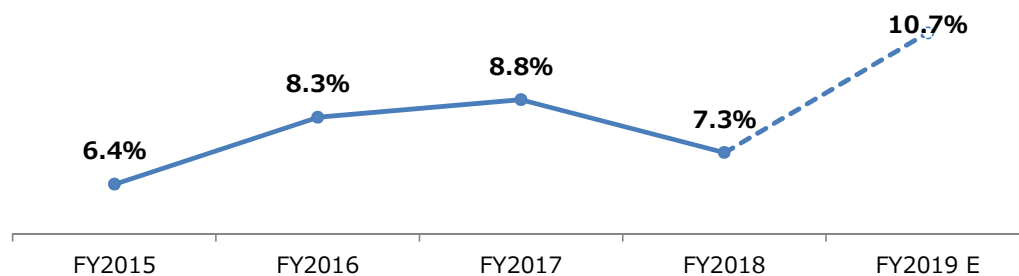
・ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 自己資本 (期首と期末の平均値)

・ROA = 経常利益 ÷ 総資産 (期首と期末の平均値)

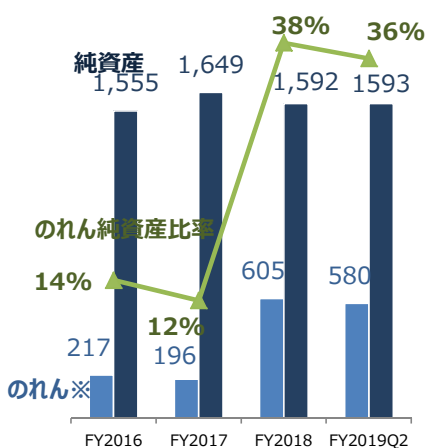
(注1)2018年度のCCCはBlommerを除く既存事業

(注2)Blommer、INDUSTRIAL FOOD SERVICES(以下、豪州IFS)を除く海外グループ会社の決算期を変更(12月→3月)に伴う15ヶ月決算を反映。

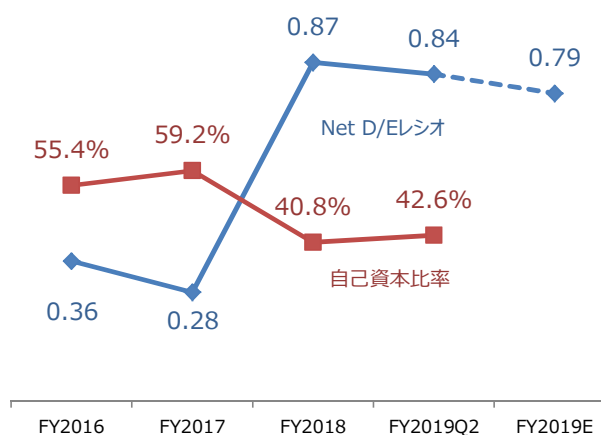
ROE



のれん純資産比率 (単位：億円)



Net D/レシオ 自己資本比率



※のれんは広義ののれんを使用

◆6. 2019年度通期業績予想

2019年度通期業績予想

		18年度 実績	19年度 期初予想 (12ヶ月)	19年度 修正予想 (12ヶ月)	19年度 修正予想 (3ヶ月)	19年度 修正予想 (15ヶ月)
売上高	植物性油脂	1,097	1,139	983	156	1,139
	業務用チョコレート	686	1,874	1,783	91	1,874
	乳化・発酵素材	865	915	854	61	915
	大豆加工素材	361	372	365	7	372
	合計	3,008	4,300	3,985	315	4,300
営業利益	植物性油脂	81	91	90	10	100
	業務用チョコレート	74	103	95	9	103
	乳化・発酵素材	33	43	45	4	50
	大豆加工素材	33	41	40	1	41
	連結調整・ グループ管理費用	▲37	▲38	▲39	-	▲39
合計	185	240	230	25	255	
営業利益率		6.2%	5.6%	5.8%	-	5.9%
経常利益		182	220	217	23	240
親会社株主に帰属する当期純利益		116	152	152	18	170

■営業利益

<ポイント>

海外事業（Blommer、豪州IFS除く）の決算期変更に伴い、営業利益計画を240億円から、255億円に修正。（12ヶ月ベースの計画は240億円から230億円に修正）

業務用チョコレート事業で、Blommerの販売数量の減少、ハラルドの採算性の低下を見込むもの、植物性油脂事業や大豆加工素材事業の堅調な推移を見込む。

<セグメント別>

植物性油脂

採算性を重視した販売の継続に加え、チョコレート用油脂の堅調な販売、及び、北米での寒波・ハリケーンの影響がなくなることによる伸長などを見込む。

業務用チョコレート

Blommerの下期での販売数量の減少、ブラジルでのレアル安などによる採算性の低下は見込むもの、Blommer買収費用の減少に加え、日本、欧州での伸長を見込む。

乳化・発酵素材

日本でのクリームなどの販売伸長、調製品事業の前年比での業績改善などを見込む。

大豆加工素材

大豆たん白素材、大豆たん白食品の採算性改善、販売伸長を見込む。

※19年度修正予想(12ヶ月)は、海外連結子会社の1月から12月の12ヶ月を反映。尚、Blommerは2月から1月の12ヶ月を反映。

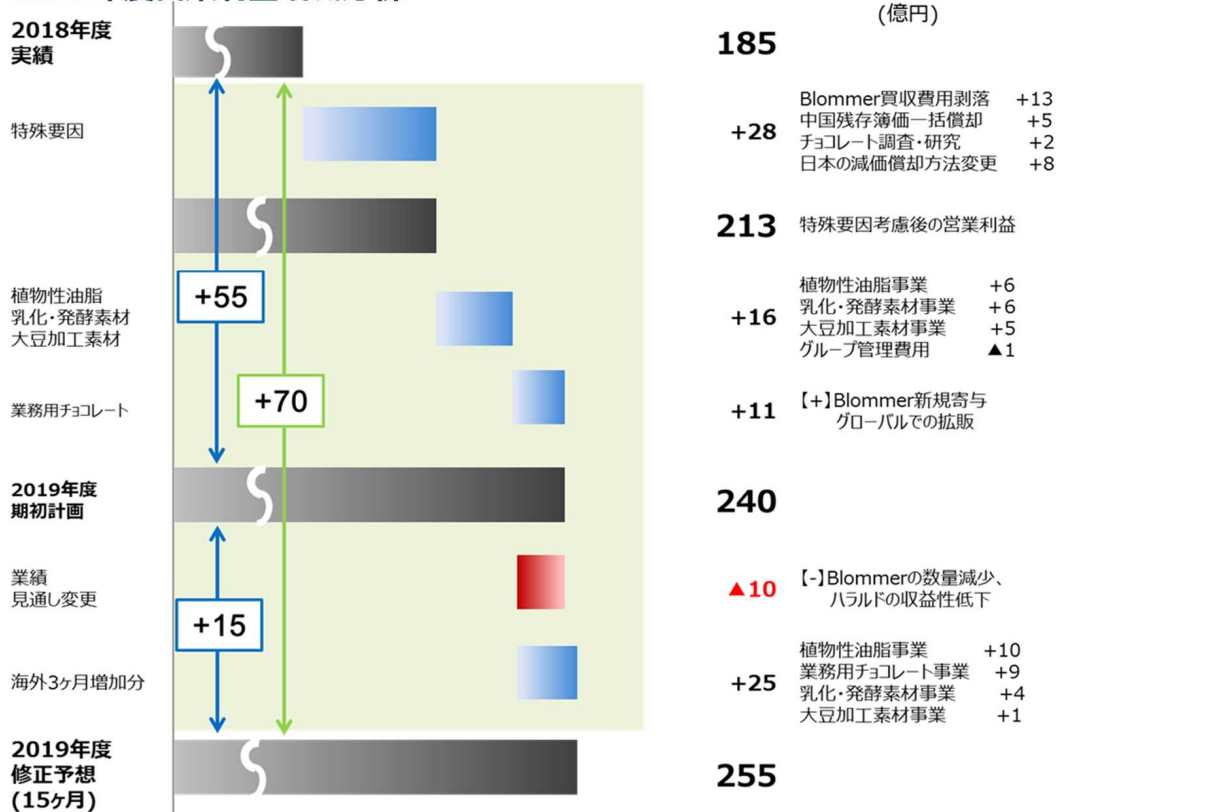
19年度修正予想(3ヶ月)は、海外連結子会社(Blommer、豪州IFSを除く)の決算期変更(12月→3月)に伴う3ヶ月間(1月から3月)の増加額を反映。

19年度修正予想(15ヶ月)は、海外連結子会社(Blommer、豪州IFSを除く)の決算期変更(12月→3月)に伴う15ヶ月決算を反映。

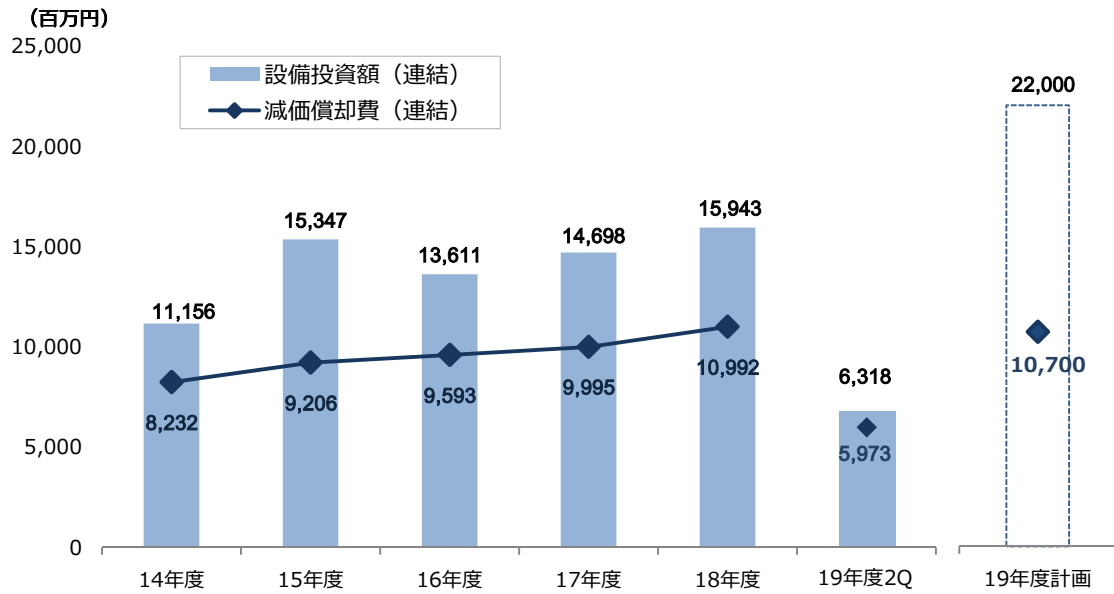
19年度にセグメント変更を実施。製菓・製パン素材事業を、業務用チョコレート事業と乳化・発酵素材事業に変更。

また、セグメント名を油脂事業を植物性油脂事業、大豆事業を大豆加工素材事業にそれぞれ変更。

2019年度営業利益増減分析

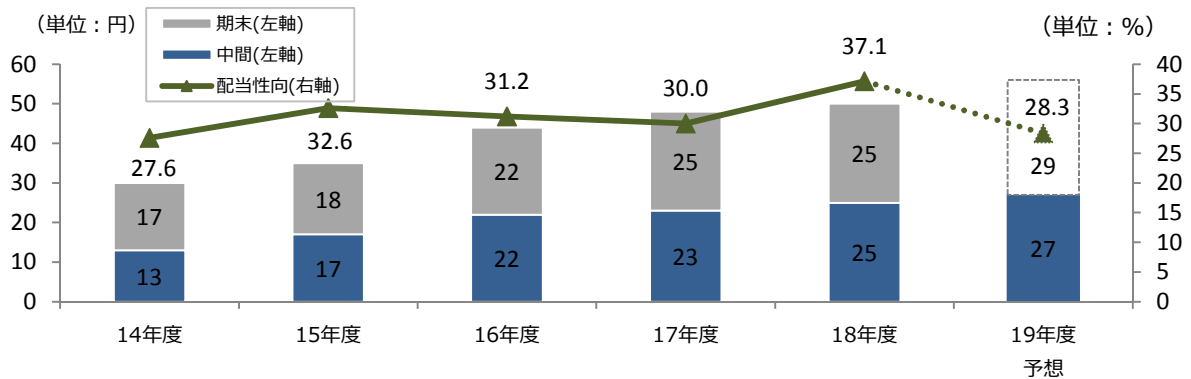


◆7.設備投資額・減価償却費の推移



2019年度2Q累計実績		2019年度計画(期初計画)	
設備投資	63億円	設備投資	220億円
<主な投資内容> <ul style="list-style-type: none"> ・北米 油脂 新拠点設立 8 億円 ・Blommer 設備投資 6 億円 ・日本 粒状大豆たん白工場 1 億円 		<主な投資内容> <ul style="list-style-type: none"> ・北米 油脂 新拠点設立 51億円 ・Blommer 設備投資 13億円 	
減価償却	60億円	減価償却	107億円

◆8.配当の推移



単位：円

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度 予想
中間	12	12	13	13	17	22	23	25	27
期末	12	13	13	17	18	22	25	25	29
合計	24	25	26	30	35	44	48	50	56
配当性向	24.9%	25.8%	27.4%	27.6%	32.6%	31.2%	30.0%	37.1%	28.3%

◆9. 売上高・営業利益（所在地別・事業別）2Q累計

売上高

(単位：百万円)

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
植物性油脂	2019 2Q	17,040	▲1,346	13,813	▲546	8,704	▲86	1,439	▲58	7,607	▲2,241	48,605	▲4,279
	2018 2Q	18,386		14,359		8,790		1,497		9,848		52,884	
業務用 チョコレート	2019 2Q	17,679	▲262	58,413	49,336	5,307	1,137	1,236	▲92	1,754	97	84,391	50,216
	2018 2Q	17,941		9,077		4,170		1,328		1,657		34,175	
乳化・発酵 素材	2019 2Q	29,514	▲1,181			5,521	▲87	5,662	7			40,698	▲1,261
	2018 2Q	30,695				5,608		5,655				41,959	
大豆加工 素材	2019 2Q	16,676	28					1,213	▲262			17,890	▲233
	2018 2Q	16,648						1,475				18,123	
売上高計	2019 2Q	80,910	▲2,762	72,227	48,791	19,533	963	9,552	▲404	9,361	▲2,144	191,585	44,442
	2018 2Q	83,672		23,436		18,570		9,956		11,505		147,143	

(注) 上記売上高は、外部顧客への売上高（内部取引は消去後の売上高）

19年度1Qより、欧州を「植物性油脂」と「業務用チョコレート」に分けて表示。（従来は植物性油脂セグメントにチョコレートを含んで表示）18年2Q実績も遡及修正済み。

営業利益

(単位：百万円)

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
植物性油脂	2019 2Q	2,024	374	1,152	253	553	59	82	▲98	595	430	17	▲61			4,425	957
	2018 2Q	1,650		899		494		180		165		78				3,468	
業務用 チョコレート	2019 2Q	2,929	82	▲1,296	▲2,337	461	59	81	32	197	106	8	53			2,382	▲2,005
	2018 2Q	2,847		1,041		402		49		91		▲45				4,387	
乳化・発酵 素材	2019 2Q	1,049	445			326	331	545	40			26	▲327			1,947	489
	2018 2Q	604				▲5		505				353				1,458	
大豆加工 素材	2019 2Q	1,864	317					231	103	▲3	▲3	9	▲41			2,103	377
	2018 2Q	1,547						128				50				1,726	
連結調整	2019 2Q	84	29	15	9	▲9	▲15	9	10			▲99	▲32				
	2018 2Q	55		6		6		▲1				▲67					
グループ 管理費用	2019 2Q													▲1,808	▲246	▲1,808	▲246
	2018 2Q													▲1,562		▲1,562	
営業利益計	2019 2Q	7,952	1,247	▲128	▲2,075	1,332	435	950	87	789	532	▲36	▲404	▲1,808	▲246	9,050	▲428
	2018 2Q	6,705		1,947		897		863		257		368		▲1,562		9,478	

(注) 19年度1Qより、欧州を「植物性油脂」と「業務用チョコレート」に分けて表示。（従来は植物性油脂セグメントにチョコレートを含んで表示）18年2Q実績も遡及修正済み。

ポイント

事業セグメント	エリア	2019年度2Q累計
植物性油脂	日本	チョコレート用油脂の堅調な販売に加え、採算重視の継続により増益
	米州	昨年の寒波の影響の反動に加え、チョコレート用油脂の販売増により増益
	東南アジア	チョコレート用油脂は減少したが、コモディティ油脂の増加や原材料の採算改善により増益
	中国	チョコレート用油脂の減少により減益
	欧州	原材料の採算改善により増益
業務用 チョコレート	日本	アイス用チョコレートの減少はあったが、菓子向けの堅調な販売により増益
	米州	Blommerでの先物評価損益の影響並びに、のれん償却費の計上に加え、ハラルドでの繁忙期の数量減、リアル安による原料コストの増加などにより大幅減益
	東南アジア	販売数量の増加により増益
	中国	採算改善により増益
	欧州	販売が堅調に推移し増益
乳化・発酵素材	日本	デザート市場向けクリームや、外食向けドリンク類が伸長し増益
	東南アジア	調製品の販売量は減少したが、採算改善により増益
	中国	マーガリン・ショートニングが減少するも、フィリングが増加し増益
	連結調整	たな卸未実現利益の消去額増加により減益
大豆加工素材	日本	機能剤は減少するも、大豆たん白素材、大豆たん白食品が堅調に推移したことに加え、高付加価値品の販売増により増益
	中国	機能剤は減少するも、前年度に譲渡した不二吉林蛋白の費用の剥落により増益

◆10.売上高・営業利益（所在地別・事業別）通期業績予想

(単位：百万円)

売上高

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
植物性油脂	2019修正予想※	35,400	▲1,382	34,200	5,417	21,200	3,406	3,300	407	19,800	▲3,622	113,900	4,225
	2019期初予想	36,900	118	29,700	918	20,400	2,607	3,400	507	23,500	78	113,900	4,225
	2018	36,782		28,782		17,793		2,893		23,422		109,675	
業務用 チョコレート	2019修正予想※	38,800	240	127,600	110,353	13,000	3,138	3,300	404	4,700	4,700	187,400	118,834
	2019期初予想	39,400	840	133,400	116,153	11,600	1,738	3,000	104			187,400	118,834
	2018	38,560		17,247		9,862		2,896				68,566	
乳化・発酵 素材	2019修正予想※	62,500	13			14,100	2,734	14,900	2,261			91,500	5,008
	2019期初予想	64,000	1,513			13,400	2,034	14,100	1,461			91,500	5,008
	2018	62,487				11,366		12,639				86,492	
大豆加工 素材	2019修正予想※	33,900	771					3,300	319			37,200	1,090
	2019期初予想	34,500	1,371					2,700	▲281			37,200	1,090
	2018	33,129						2,981				36,110	
売上高計	2019修正予想※	170,600	▲359	161,800	115,770	48,300	9,278	24,800	3,390	24,500	1,078	430,000	129,156
	2019期初予想	174,800	3,841	163,100	117,070	45,400	6,378	23,200	1,790	23,500	78	430,000	129,156
	2018	170,959		46,030		39,022		21,410		23,422		300,844	

※19年度修正予想は海外連結子会社(Blommer、豪州IFSを除く)の決算期変更(12月→3月)に伴う15ヶ月決算を反映。前期比は前期(12ヶ月)の数値
上記売上高は、外部顧客への売上高(内部取引は消去後の売上高)

営業利益

(単位：百万円)

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
植物性油脂	2019修正予想※	4,065	81	2,676	923	1,578	649	149	▲157	1,574	409	▲40	▲49			10,004	1,854
	2019期初予想	3,662	▲322	2,210	457	1,498	569	419	113	1,294	129	1	▲8			9,084	936
	2018	3,984		1,753		929		306		1,165		9				8,148	
業務用 チョコレート	2019修正予想※	6,897	451	1,345	▲15	1,305	344	247	275	497	497	39	1,345			10,330	2,898
	2019期初予想	6,687	241	2,351	991	1,141	180	74	102			43	1,349			10,296	2,864
	2018	6,446		1,360		961		▲28				▲1,306				7,432	
乳化・発酵 素材	2019修正予想※	2,770	940			822	624	1,404	413			▲45	▲345			4,952	1,632
	2019期初予想	2,363	533			868	670	1,117	126			▲49	▲349			4,300	980
	2018	1,830				198		991				300				3,320	
大豆加工 素材	2019修正予想※	3,316	668					683	99			131	75			4,130	841
	2019期初予想	3,433	785					559	▲25			138	82			4,130	841
	2018	2,648						584				56				3,289	
連結調整	2019修正予想※	164	1,352	▲86	▲77	3	48	37	37	20	20	▲138	▲1,381				
	2019期初予想	232	1,420	0	9	15	60	▲29	▲29			▲218	▲1,461				
	2018	▲1,188		▲9		▲45						1,243					
グループ 管理費用	2019修正予想※													▲3,916	▲251	▲3,916	▲251
	2019期初予想													▲3,809	▲144	▲3,809	▲144
	2018													▲3,665		▲3,665	
営業利益計	2019修正予想※	17,212	3,490	3,935	832	3,709	1,665	2,522	669	2,091	926	▲53	▲354	▲3,916	▲251	25,500	6,975
	2019期初予想	16,377	2,655	4,561	1,458	3,523	1,479	2,140	287	1,294	129	▲85	▲386	▲3,809	▲144	24,000	5,475
	2018	13,722		3,103		2,044		1,853		1,165		301		▲3,665		18,525	

※19年度修正予想は海外連結子会社(Blommer、豪州IFSを除く)の決算期変更(12月→3月)に伴う15ヶ月決算を反映。前期比は前期(12ヶ月)の数値との比較。

ポイント

植物性油脂	・日本 ・米州(FY19年度は15ヶ月) ・東南アジア(FY19年度は15ヶ月) ・中国(FY19年度は15ヶ月)	FY19年度 採算重視の販売継続により増益計画 コモディティ油脂及び、チョコレート用油脂などの販売伸長を見込み増益計画。 チョコレート用油脂などの販売伸長を見込み増益計画。 ポートフォリオの見直しによる戦略的減少。
業務用 チョコレート	・日本 ・米州(FY19年度Blommer除く15ヶ月) ・東南アジア 中国(FY19年度は豪州IFS除く15ヶ月)	カラーチョコのライン増設寄与などにより増益計画。 Blommerの数量減及びブラジルの採算性の低下を見込む。 東南アジアでの堅調な販売、中国での拡販を図る計画。
乳化・発酵素材	(FY19年度東南アジア、中国が15ヶ月)	日本での新市場での拡販に加え、中国新工場寄与により増益計画。
大豆加工素材	(FY19年度中国が15ヶ月)	大豆たん白食品の販売回復などにより、増益計画。

◆ 11. 中期戦略製品群別 販売数量推移(対前年同期比)

(対前年同期比%)

セグメント	製品群		2017 (年間)	2018						2018 (年間)	2019			2019 (年間予想)
				1Q	2Q	(上期)	3Q	4Q	(下期)		1Q	2Q	(上期)	
植物性油脂	チョコレート用油脂 (CBE、CBR、CBS)	日本	99%	96%	98%	97%	96%	96%	96%	97%	97%	107%	102%	100%
		米州	85%	104%	103%	104%	109%	93%	101%	102%	98%	103%	100%	119%
		東南アジア	108%	112%	102%	107%	80%	98%	88%	97%	98%	95%	97%	102%
		中国	114%	83%	103%	90%	96%	87%	91%	91%	73%	97%	83%	103%
		欧州	102%	92%	105%	98%	90%	90%	90%	93%	84%	83%	84%	98%
		合計	99%	103%	102%	103%	91%	95%	93%	97%	94%	97%	96%	105%
業務用 チョコレート	チョコレート	日本	102%	102%	91%	96%	99%	90%	95%	96%	93%	103%	98%	103%
		米州	89%	93%	92%	92%	102%	117%	110%	101%	82%	131%	96%	106%
		東南アジア	124%	104%	98%	101%	101%	107%	104%	103%	119%	127%	123%	127%
		中国	92%	141%	114%	127%	114%	121%	118%	122%	99%	104%	101%	106%
		欧州	105%	122%	131%	127%	91%	117%	105%	123%	123%	106%	114%	105%
		合計	101%	100%	96%	98%	105%	110%	107%	103%	99%	119%	107%	110%
		Blommer (参考)	-	-	-	-	-	-	-	-	107%	98%	102%	-
乳化・発酵 素材	クリーム	日本	104%	104%	101%	102%	94%	99%	96%	99%	107%	104%	105%	103%
		東南アジア	120%	125%	103%	111%	103%	114%	109%	110%	116%	116%	116%	116%
	マーガリン・ ショートニング	日本	98%	96%	98%	97%	96%	92%	94%	96%	84%	85%	85%	94%
		中国	110%	95%	99%	97%	92%	122%	106%	103%	94%	88%	91%	145%
	フィリング	中国	160%	161%	132%	145%	139%	141%	140%	142%	115%	114%	114%	116%
大豆 加工素材	大豆たん白素材	日本	103%	104%	104%	104%	105%	102%	104%	104%	101%	104%	103%	103%
	大豆たん白食品	日本	89%	83%	84%	83%	103%	105%	104%	93%	108%	102%	105%	106%
	機能剤	日本	103%	96%	107%	102%	91%	107%	99%	101%	96%	90%	93%	113%

※1：Blommerの数量は除いて算出 ※2：BlommerのP/L連結は2019年1Qから開始、参考値として連結前の同月期の販売数量実績対比の指数を掲載
19年度年間予想は、当初計画の12ヶ月ベースとなっております。

チョコレート（米州、東南アジア）、クリーム（東南アジア）については、集計方法変更等により遡及修正。

2019年度2Q ポイント

植物性油脂： 日本ではチョコレート用油脂が2Qで堅調に推移し、上期増加。米州は2Qで販売量を伸ばし、上期は前年並みとなった。東南アジアは上期前年比で減少となった。

業務用チョコレート： 日本ではアイス向けが減少も菓子向けが堅調。米州は販売強化により2Qで大幅増。東南アジアは豪州IFSの新規連結が寄与し増加、また欧州も販売が堅調に推移し増加。米州ではBlommerは、シュガーレスなど堅調も、2Qは減少。

乳化・発酵素材： 日本ではデザート向け、カフェチェーン向けクリームが堅調に推移し増加。中国ではフィリングは好調に推移し、上期で2桁増となったが、マーガリン・ショートニングは減少となった。

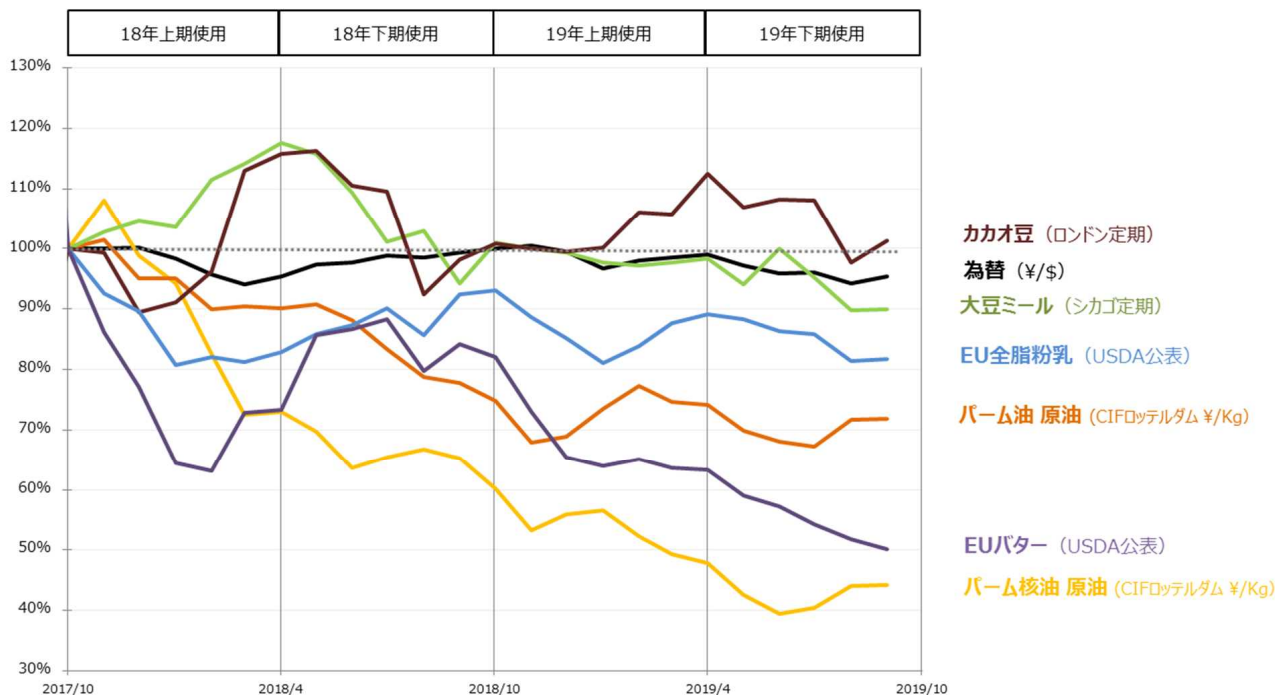
大豆加工素材： 大豆たん白素材、大豆たん白食品ともに堅調に推移。機能剤は、冷夏に加え、販売の期ずれにより減少

◆ 12. 主要関連相場

- ・当グループ事業に影響のある主な原料の国際相場について、円換算した価格を指数化し一覧化したものであり、実際の使用原料相場とは相違があります。
- ・当グループの原料手当期間に合わせ、使用時期と手当時期を半年ずらして表示しています。

主要関連原料相場推移（円換算後）

※2017/10/1の相場を100とする



主な為替レート

- ・ P/L : 期中平均レート、B/S : 期末レート

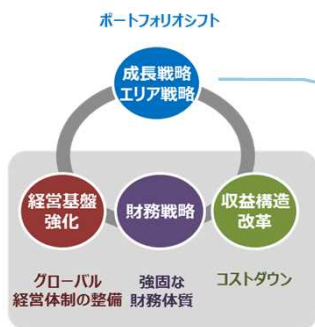
主要為替レート

		2018年度	2018年度	2019年度	対前年同期		2019年度
		2Q	期末	2Q	差	増減率	期初予想
\$	P/L	108.68	110.43	110.05	+1.37	+1.3%	113.00
	B/S	110.54	111.00	107.79	▲2.75	▲2.5%	
BRL	P/L	31.84	30.38	28.64	▲3.20	▲10.1%	28.25
	B/S	28.67	28.65	28.13	▲0.54	▲1.9%	
€	P/L	131.64	130.42	124.32	▲7.32	▲5.6%	132.00
	B/S	127.91	127.00	122.49	▲5.42	▲4.2%	
元	P/L	17.09	16.72	16.20	▲0.89	▲5.2%	16.50
	B/S	16.66	16.16	15.69	▲0.97	▲5.8%	

- ・当グループでは、仕入れは為替予約を用いて実施しています。

◆13. 中期経営計画

基本戦略



基本方針

- ①コアコンピタンスの強化
- ②大豆事業の成長
- ③機能性高付加価値事業の展開
- ④コストダウンとグローバルスタンダードへの統一

	16年度実績	17年度実績	18年度実績	19年度予想		20年度目標
ROE	8.3%	8.8%	7.3%	10.7%	—	10.0%
売上高純利益率	4.1%	4.5%	3.8%	—	—	約5%
総資産回転率	107.5%	113.6%	78.5%	—	—	約115%
財務レバレッジ	1.8倍	1.7倍	2.5倍	—	—	約1.8倍
EPS	140.8円	159.9円	134.7円	197.8円	—	EPS CAGR 8%以上
EPS成長率	31.2%	13.5%	▲15.7%	—	—	営業利益 CAGR 6%以上
営業利益	197億円	205億円	185億円	255億円	—	配当性向 30-40%
営業利益成長率	16.9%	4.0%	▲9.5%	—	—	4か年累計 1,000億円
株主還元 (配当性向)	31.2%	30.0%	37.1%	28.3%	—	CCC 10日間の短縮
営業キャッシュフロー	165億円	282億円	226億円	—	2年間の累計 508億円	4か年累計 600-700億円
CCC	110日	103日	※ 105日	106日	—	500億円の資金確保
売上債権	74日	76日	—	—	—	
棚卸資産	65日	57日	—	—	—	
仕入債務	29日	30日	—	—	—	
設備投資	136億円	147億円	159億円	—	2年間の累計 306億円	
M&A	—	—	Blommer・IFS	—	—	

※18年度のCCCはBlommerを除く既存事業

19年度修正予想は海外連結子会社(Blommer、豪州IFSを除く)の決算期変更(12月→3月)に伴う15ヶ月決算を反映。

◆14. トピックス

2019年5月	「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」の提言に賛同及びTCFDコンソーシアムへの参画
2019年6月	公募ハイブリッド社債発行
2019年7月	「サステナビリティレポート2019」を公開 Fuji Brandenburg GmbH設立
2019年8月	「統合報告書2019」発行